

# 宮崎大学における串間市生涯学習講座への協力の取り組み

○三宅 琢磨<sup>1</sup>, 金丸 慎太郎<sup>1</sup>, 外山 貴子<sup>1</sup>, 菅本 和寛<sup>2</sup>

<sup>1</sup>宮崎大学工学部教育研究支援技術センター, <sup>2</sup>宮崎大学工学教育研究部

## 1.はじめに

宮崎大学工学部教育研究支援技術センターでは、平成 26 年度より地域貢献事業の一環として宮崎県串間市における生涯学習講座の質の向上を図ることを目的に、工学部の教員と協力して科学祭りを実施してきている。本事業は、宮崎大学のみやざき地域志向教育研究経費(COC 事業)への採択に端を発するものである。当該事業の終了後も串間市では予算化されており、本学においても、enPiT-everi 社会人リカレント教育プログラムや工学×女子など学内外の様々なプロジェクトとも協力をを行いながら、科学祭りを継続して実施している。本報では、6 年に亘り継続している科学祭りについての報告を行う。

## 2.科学祭り

科学祭りとは、宮崎県串間市の中央公民館にて実施されている特別講座の 1 つとして小中学生を対象に企画されているものである。平成 26 年度より実施され、本年度までの 6 年間で延べ 367 名の参加があった。各年度の実施形態と参加人数を表 1 に示す。これまでに、化学系の実験やはんだごてを用いた電子回路工作、空力の原理を応用したテーマ、タブレット端末を利用したプログラミングなど幅広い分野のテーマを実施してきている。表 2 に主な実施テーマを示す。科学祭りは様々な分野のテーマを幅広く体験することで、科学への興味を持つきっかけとしてもらうことを目的の 1 つとして実施している。

表 1: 実施形態と参加人数

開催年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
実施形態	2 日間異なるテーマを実施	午前:親子参加 午後:子供のみ	1 日開催	フリーブース形式	1 日開催	同一テーマを 1 日 2 回実施
参加人数	82	60	35	73	47	70

表 2: 実施テーマ

化学系	芳香剤、バウンドボール、スライム、シャボン玉、フィルムケースロケット
電気系	電子回路工作
機械系	空力翼艇、ジャイロリング
物理系	顕微鏡、万華鏡、望遠鏡
情報系	暗号パズル、モーションキャプチャー、LEGO マインドストーム、MESH

## 3.今後の展望

科学祭りの実施後には、参加者にアンケートをお願いしている。アンケートの回答では、科学祭りへの参加を通して、理科が好きになったとの回答が約 70%となっている。このことから、多くの参加者に科学への興味を深めてもらったことが分かる。また、これまでの実施状況を踏まえると、科学祭りを 80 名規模とすると、希望者のほとんどが参加可能となることが分かった。さらに、参加者の希望する実験テーマのなかで木工工作の回答が例年 20%程度あるが、これまで希望に応えることが出来ていないため、今後検討する必要がある。